

トーマツ 統合報告/サステナビリティ関連ニュース

統合報告アドバイザリー室

CSR NetherlandsがCSRリスク
チェックのツールを開発

オランダの外務省の委託により、MVO Nederland (CSR Netherlands) は、国際的に製品を購入したり輸出する、また海外で製品を製造する企業向けに、「CSRリスクチェック (CSR Risk Check)」を開発した。このツールは、製品・サービス、国、セクターを入力することで、国際的なCSRのリスクを分析し、リスクの種類ごとにグルーピングするものである。結果や、詳細な分析と推奨される行動はカスタマイズが可能なPDF形式でダウンロードできる。より詳細な情報は、MVO Nederlandのウェブサイト参照。

CSR Netherlands ウェブページ “CSR Risk Check for companies”

<http://www.mvorisicochecker.nl/en/risk-check>

詳細は以下をご参照ください。

統合報告&サステナビリティ関連サービスウェブサイト解説記事 (2015.12.7)

(<http://www.deloitte.com/jp/ir/news/151207>)

CFA協会、ESG投資に関するガイド
を作成

投資家の国際的組織であるCFA協会は、「ESG投資に関する論点：投資のプロフェッショナルのためのESGポートフォリオの構築ガイド」を作成した。このガイドは、高まる投資家の関心に応じて開発されたもので、投資分析の項目にESG論点をより適切に組み入れ、ESGへの配慮を包括的に導入するためのものである。

詳細は以下をご参照ください。

統合報告&サステナビリティ関連サービスウェブサイト解説記事 (2015.11.27)

(<http://www.deloitte.com/jp/ir/news/151127>)

国際取引所連合、取引所向けのガイ
ダンスを公表

国際取引所連合 (WFE) は、加盟する取引所に

向け、サステナビリティ方針の適用に関するガイダンスを公表した。ガイダンスは、各取引所が上場する企業向けのディスクロージャー指針に組み込むことができる、重要な環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する指標を特定している。

具体的に、エネルギー消費量、水管理、人権、児童労働等、34の開示項目とKPI (主要パフォーマンス指標) が表形式で提供されており、グローバル・レポート・イニシアティブ (GRI) のG4、米国サステナビリティ会計基準審議会 (SASB)、国際統合報告評議会 (IIRC)、国連グローバル・コンパクト (UNGC) とのリファレンスも記載されている。

詳細は、WFEのホームページに掲載されているプレスリリース、ガイドライン、ESG指標を参照のこと。

詳細は以下をご参照ください。

統合報告&サステナビリティ関連サービスウェブサイト解説記事 (2015.11.06)

(<http://www.deloitte.com/jp/ir/news/151106>)

国際会計士連盟、会計士による統合思
考への貢献についてレポートを発行

国際会計士連盟 (IFAC) は、「統合思考による価値創造、職業的会計士の役割」というレポートを発行した。その中で、統合思考についてのビジョンを提示し、統合報告を発行するかどうかに関係なく、公的セクター及び民間セクターにおいて、統合思考を組織に浸透させるため、会計士は何か出来るかを探っている。

レポートの基本的なコンセプトと原則は、IIRCの「国際統合報告フレームワーク (2013年12月発行)」によっており、結合されたアプローチによって統合思考以外の4つの領域、「外部価値フォーカス」、「統合されたプランニング」、「有効なガバナンスと監視」、「統合されたコミュニケーション」がどのように支えられるかを説明している。また、組織をより幅広く見ていくことで、CFOと財務部門が、ヒト、プロセス、システムに関わるあらゆる面の結合性をより確実に高めていくための端緒となりうる。他方、結合されていないアプローチでは、経営

者への情報提供と外部報告において、重要な価値ドライバーが漏れてしまう可能性がある」と指摘している。

詳細は以下をご参照ください。
統合報告&サステナビリティ関連サービスウェブサイト解説記事(2015.11.04)
(<http://www.deloitte.com/jp/ir/news/151104>)

以上

『トーマツ統合報告/サステナビリティ関連ニュース』のお問い合わせ先：

ご意見・ご質問はホームページ (http://www.tohmatsu.com/view/ja_JP/jp/services/consulting/report/index.htm) のお問い合わせフォームをご利用、又は、統合報告アドバイザー室 (03-6213-1540) までご連絡ください。

デロイト トーマツ 企業リスク研究所 季刊『企業リスク』のご案内

<http://www.deloitte.com/jp/book/er>

デロイト トーマツ 企業リスク研究所では、企業を取り巻くさまざまなビジネスリスクへ適切に対処するための研究活動を行っています。季刊誌「企業リスク」は、その研究成果や、各種リスクに関する実務経験を備えた専門家(研究所所属)の知見をお届けする専門誌です。最新号の試読も承っておりますので、是非この機会にお試しください。(お一人様一回限り)

〈最新号 第50号(2016年1月号)掲載内容〉

●特集 **サイバーセキュリティの先端**

サイバーインテリジェンスを活用した次世代SOC
CISO・セキュリティ部門のあり方
SOCを活用するーサイバーセキュリティ分析サービスの最新動向ー
制御系システム・IOTのサイバーセキュリティ

●研究室

新しい個人情報保護法とその影響
COSO three lines defense 解説

●連載

グローバルビジネスリスク最前線：地域別の汚職・腐敗問題を中心とした政治問題
企業リスク海外事情：人材の宝庫フィリピン

お問合せ先 **デロイト トーマツ企業リスク研究所** Tel:03-6213-1113 E-mail:risk-magazine@tohmatsu.co.jp